

かわら版は平成 14 年 7 月創刊。毎月 21 日の縁日にお配りさせていただいております。おかげさまで先月で満 5 年、第 60 号となりました。皆様のご愛読に心より感謝申し上げます。今後ともかわら版をよろしく願い申し上げます。なお、今月は、公職選挙法の制約により、例月の裏面は休刊です(先月が第 60・61 合併号)。あしからずご了承ください。

★「もっと知りたい! 覚王山と日泰寺」

- 創刊号(14 年 7 月) 「弘法さん」の縁日はいつから始まった? 歳弘法の「おもかるさん」
- 第 2 号(14 年 8 月) 錠薬師は円空の一刀彫り 帳振甫(徳川家の御用医師)の医王堂
- 第 3 号(14 年 9 月) 日泰寺はもともと「日蓮寺(にっせんじ)」 名古屋に建てられた理由
- 第 4 号(14 年 10 月) 覚王殿建立地選び 建仁寺での大激論の末、名古屋に決定
- 第 5 号(14 年 11 月) どうして覚王山が塔廟の候補地に? 秘密は四観音道と東山村の村長
- 第 6 号(14 年 12 月) 覚王山界隈の地名の由来を勉強してみましょう!
- 第 7 号(15 年 1 月) 日泰寺の誇る日本最小の八十八ヶ所霊場
- 第 8 号(15 年 2 月) 覚王山の「札所」は本場四国霊場の「お接待さん」のような役割
- 第 9 号(15 年 3 月) 「お遍路」の順番? 「お接待さん」の後継者問題
- 第 10 号(15 年 4 月) お遍路さんの衣装、白装束の由来
- 第 11 号(15 年 5 月) 「焙烙(ほうろく)灸」の効能 札所はなぜ八十八箇所?
- 第 12 号(15 年 6 月) 弘法さんにはいくつかの名前「無空」「空海」「遍照金剛」「弘法大師」
- 第 13 号(15 年 7 月) 覚王山の歴史的建造物 水の空海と火の最澄
- 第 14 号(15 年 8 月) 観光客で溢れた「放生池」 覚王山は日泰寺の「山号」
- 第 15 号(15 年 9 月) お彼岸は純国産 弘法大師の苦難の船出から千二百年目
- 第 16 号(15 年 10 月) 子育て祈願の子安大師 お地藏さんの赤いよだれかけ
- 第 17 号(15 年 11 月) 道隆寺の目なおし薬師様 覚王山の「目なおしのお札」
- 第 18 号(15 年 12 月) 干支ごとに「守り本尊」があります 弘法大使と大日如来

★「巡礼いろいろ」

- 第 19 号(16 年 1 月) 祖師巡礼と「大師」号 観賢僧正とひげの伝説
- 第 20 号(16 年 2 月) 日泰寺山門両脇は仁王像? 実は二人のお弟子さん
- 第 21 号(16 年 3 月) 四月八日は灌仏会=花祭り お釈迦様のお誕生日です
- 第 22 号(16 年 4 月) 石仏は三種類 石仏=お地藏さまではありません
- 第 23 号(16 年 5 月) 春日井市勝川の大弘法 福の神を巡る七福神巡り
- 第 24 号(16 年 6 月) 七難転じて七福と為す 愛知の七福神巡礼
- 第 25 号(16 年 7 月) 「御祥当」の正しい読み方 お砂踏みはお手軽な八十八箇所巡礼
- 第 26 号(16 年 8 月) お月見と縁の深い覚王山 満月と弘法大師
- 第 27 号(16 年 9 月) 高野山を含む三つの山岳霊場、いよいよ世界遺産に!
- 第 28 号(16 年 10 月) 美和町の蜂須賀弘法 蜂須賀小六一族が弘法さんにご恩返し?

番外編

第 29 号(16 年 11 月) 祝! 覚王山日泰寺百周年 「目なおしのお札」続報

第 30 号(16 年 12 月) 平成十七年の守り本尊は? お百度参りと百度石

★「仏像いろいろ」

第 31 号(17 年 1 月) 曜日は弘法大師がもたらしたもの 覚王山で星祭り

第 32 号(17 年 2 月) いろいろな仏像、いろいろな菩薩 学業成就には虚空蔵菩薩

第 33 号(17 年 3 月) 弘法大師と弥勒菩薩 弥勒菩薩はお釈迦様の跡継ぎ

第 34 号(17 年 4 月) お釈迦様の二人の脇侍 普賢菩薩と文殊菩薩

第 35 号(17 年 5 月) 地藏菩薩はお釈迦様から弥勒菩薩への橋渡し 六つの世界を見守る地藏菩薩

第 36 号(17 年 6 月) 釈迦の見分け方 大日如来は諸仏の王 牛馬を守る大日さん

第 37 号(17 年 7 月) 釈迦の五印 お盆はお釈迦様の弟子、目連の母想いから

第 38 号(17 年 8 月) 応病与薬の薬師如来 四国霊場の中で最も多いご本尊は薬師如来

第 39 号(17 年 9 月) 光と長寿の阿弥陀如来 生前の振る舞いを識別する九品来迎印

第 40 号(17 年 10 月) 覚王山の鯖大師 明王の中心はお不動さん

第 41 号(17 年 11 月) 愛染明王は良縁、家庭円満の仏 愛染かつら 四観曼荼羅八十八箇所霊場

第 42 号(17 年 12 月) 三毒を取り除く孔雀明王 神仏習合の札所、稲荷山龍光寺

第 43 号(18 年 1 月) 天部はインドの神様 寅さんでお馴染みの帝釈天

第 44 号(18 年 2 月) 帝釈天の四人の忠臣、四天王 持国天、広目天、増長天、多門天

第 45 号(18 年 3 月) 四天王のリーダー、毘沙門天は多門天のこと 覚王山の吉祥寺

第 46 号(18 年 4 月) 八大(代)龍王はお釈迦様の従者 覚王山の歳弘法に八大龍王の「おつげの石」

第 47 号(18 年 5 月) 梵天なくして仏教なし 梵鐘の梵は梵天の梵 覚王山の大梵鐘

第 48 号(18 年 6 月) 「阿吽の呼吸」の金剛力士 乱世を平定する執金剛神

第 49 号(18 年 7 月) 閻魔大王も仏様 十三仏信仰と覚王山の十三仏

第 50 号(18 年 8 月) 方角と時間を司る十二天 日泰寺のライバル? 蒲郡の無量寺

第 51 号(18 年 9 月) 不動明王が中心の五大明王 不動明王信仰の東海霊場巡り

第 52 号(18 年 10 月) 青面金剛は庚申講のご本尊 見ざる・言わざる・聞かざるの三猿

第 53 号(18 年 11 月) 賓頭盧は十六羅漢の一番弟子 賓頭盧と言えば善光寺 祖父江にも善光寺

第 54 号(18 年 12 月) 仏教の三つの宝と三宝荒神 織田信長も三宝荒神を祀る

★「覚王山の古刹・名刹」

第 55 号(19 年 1 月) 尋盛寺と徳川家 京姫と三葉葵 山門は清洲越し以来のもの

第 56 号(19 年 2 月) 相応寺は尾張徳川家藩祖の母君の菩提寺 徳川義直公直筆の浄土三部経

第 57 号(19 年 3 月) 大龍寺の五百羅漢堂 独特な風情の黄檗宗のお寺

第 58 号(19 年 4 月) 織田信長と法華寺 法華経の教え「一乗」という「乗り物」

第 59 号(19 年 5 月) 台観寺には弘法大師作の大黒天像 法華経の「空」と「久遠実成」

第 60 号(19 年 6 月) 織田家の菩提寺「桃巖寺」と四諦八正道 威風堂々、名古屋大仏

